

下肢牽引装置 DR-8700-A

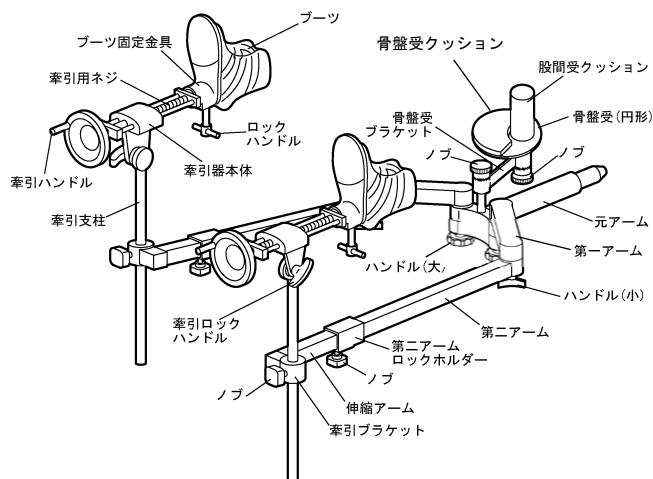
【禁忌・禁止】

〈使用方法〉

当社製の手術台 DR-8700、DR-8750 以外には取り付けて使用しないこと。[安全性が保証できないため]

【形状・構造及び原理等】

1) 外観図



2) 機器の仕様

最大牽引力 400N (40kgf)

〈動作保証条件〉

下記の条件にて使用すること。(ただし、結露しないこと)
周囲温度 10～40℃ 相対湿度 30～75% 気圧 700～1060hPa

【使用目的又は効果】

本機は手術台に取り付け、主に整形手術時に下肢を牽引するために使用する。

【使用方法等】

1) 取付・設置（組立・据付）

機器の詳細な設置方法については、付属の取扱説明書を必ずお読みください。

2) 操作方法又は使用方法

機器の詳細な操作方法及び使用法は付属の取扱説明書の操作方法の項をご使用前に必ずお読みください。

【使用上の注意】

〈重要な基本的注意〉

- ①体重が 135 kg 以上の人は乗せないこと。
- ②アームの端に腰掛けたり、過度の荷重をかけたりしないこと。
[故障や転倒の原因となります]
- ③第一アームと第二アーム間のノブは必要以上にゆるめ過ぎないこと。[ゆるめ過ぎると第二アームが落ちたり、旋回し指を挟むなどの思わぬ事故の原因になります。]

④骨盤受ブラケットを差し込むときは、差し込み支柱の△印と関節部の△印の方向を合わせ穴に入れ、支柱が回らないことを確認すること。[回転の固定ができず思わぬ事故の原因となります]

⑤下肢牽引装置を手術台本体に取り付けたまま収納する場合は、手術台の脚板を下げないこと。[脚板の破損の原因となります。]

⑥牽引操作前には各部ハンドル・ノブを確実に締め付けること。
[ゆるんだ状態で機器を操作すると思わぬ事故の原因になります。]

⑦消毒の際、金属腐食性の強い消毒液（ポピドンヨード（イソジン液）・次亜塩素酸ナトリウム）などは使用しないこと。[本体の腐食の防止]

【保管方法及び有効期間等】

〈保管方法〉

・保管環境

周囲温度-20～60℃ 相対湿度 10～90% 気圧 500～1060hPa

〈耐用期間〉

- ・本機の耐用期間は 10 年です。（自己認証（当社データ）による）

※正規の使用方法、保守点検、消耗品などの交換を行った場合に限る。

- ・クッション部品は使用環境によって異なります。

【保守・点検に係る事項】

詳細については取扱説明書の「保守点検」の項を使用前に必ずお読みください。

〈使用者による保守点検（日常点検）〉

頻度	内容
使用前	設置状況の確認
	取付状況の確認
	外観状況の確認

以上について点検を行い、少しでも「おかしいな？」と感じたらすぐに使用を中止すること。

しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に清掃を行なった後、必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認すること。

〈業者による保守点検〉

業者による保守点検を実施する場合は、弊社または医療機器修理業者などの有資格者へ依頼してください。

●機器を廃棄するとき

機器や交換した部品を廃棄するときは、感染予防を十分行い、その時点での法規制にしたがい、適切な処理をしてください。

取扱説明書を必ずご参照ください

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 タカラメディカル株式会社 TEL : 06-6499-3461
販売業者